

2020年4月1日～2025年11月30日の間に 当科において食道癌の抗癌剤治療を受けられた方及びご家族の方へ

—「当科における進行・再発食道癌に対する化学療法の成績」へのご協力のお願—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学消化器外科学 准教授 遠藤俊治

1. 研究の概要

食道癌に対する抗癌剤の種類が最近増えてきています。当科では進行・再発食道癌の患者様に各種抗癌剤治療を行っていますが、その治療成績について調査を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020年4月1日～2025年11月30日の間に川崎医科大学附属病院消化器外科において進行・再発食道癌に対して抗癌剤治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において進行・再発食道癌に対して抗癌剤治療を受けられた方の、腫瘍の縮小や、生存期間に関する分析を行い、抗癌剤の効果について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、治療歴、食道癌の位置、大きさ、組織型、増悪までの期間、生存期間、副作用等の発生状況 等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学消化器外科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画

の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年5月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院消化器外科

氏名：遠藤俊治

電話：086-462-1111 内線 26503（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-462-1199

E-mail：endo-s@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。